

映画と講演(参加者四百人)  
講演「日本映画の伝統と無法松」

講師・佐藤忠勇さん 日本映画  
学校校長

映画「無法松の一生」

1958年

監督・稲垣浩、主演・三船敏郎、  
ヘニス国際映画祭グランプリ

受賞

1月7日、特別

企画展のイベント  
として映画と講演  
を小倉井筒屋バス  
テルホールで開催  
しました。講師の



佐藤さんの「無法松は、日本映画  
で伝統的に描かれてきた男らしさ  
の例外で、むしろ西洋の騎士道に  
通じるところが新しい。」など楽し  
いお話の後、映画を鑑賞しました。  
懐かしい名作に、笑いあり涙あ  
りの上映会となりました。

### 第二回特別企画展

「作家の自筆原稿でたどる

〈文学・青春〉展」

川端康成、三島由紀夫、太宰  
治、大江健三郎など、作家の直筆  
資料を展示

北九州市立文学館では、第二回  
特別企画展として「作家の自筆原  
稿でたどる〈文学・青春〉展」を  
開催します。「青春」をテーマに、

約70名の作家と作品を紹介。青  
春を描いた作品や、作家が青春時  
代に執筆した作品を、1920年  
代以降の文学の展開に沿って展示  
します。日本近代文学館の協力の  
下、作家の自筆原稿や書簡、単行  
本などを出品する予定です。是非  
ご覧ください。

「主な展示予定資料」

— 第1部 愛と性

川端康成「伊豆の踊子」白筆原  
稿、伊藤整「若い詩人の肖像」自  
筆原稿、三島由紀夫 坂本一亀宛  
書簡、吉行淳之介「驟雨」白筆原  
稿、石原慎太郎「太陽の季節」自  
筆原稿、新川和江「わたしを束ね  
ないで」自筆原稿、三浦哲郎「忍  
ぶ川」自筆原稿ほか

— 第2部 思想と社会

葉山嘉樹 獄中メモ、小林多喜  
二「蟹工船」白筆原稿、中野重治  
徳永直宛書簡「獄中から、小田  
実」何でも見てやろう」自筆原  
稿、高橋和巳「憂鬱なる党派」白  
筆原稿、三田誠広「僕って何」白  
筆原稿ほか

— 第3部 戦争と青春

堀田善衛 芥川比呂志宛はがき、  
中村真一郎「物語のために」序詩  
十篇」詩稿、福水武彦「告別」  
白筆原稿、野間宏 坂本一亀宛書  
簡、梅崎春生「桜島」白筆原稿、  
大岡昇平「武蔵野夫人」訂正稿

(坂本一亀宛書簡中)、安岡章太郎  
「悪い仲間」白筆原稿、丸谷才一  
「笹まくら」自筆原稿ほか

— 第4部 青春彷徨

中原中也 長谷川泰子宛書簡、太  
宰治「人間失格」斜陽」自筆原  
稿、井上靖「闘牛」自筆原稿、遠  
藤周作「白い人」自筆原稿、大江  
健三郎「飼育」個人的な体験」自  
筆原稿、五木寛之「蒼ざめた馬を  
見よ」自筆原稿、庄司薫「赤頭巾  
ちゃん気をつけて」自筆原稿、村  
上龍「限りなく透明に近いブルー」  
自筆原稿、高樹のぶ子「光抱  
く友よ」自筆原稿、山田詠美「ソ  
ウル・ミュージック・ラバーズ・  
オンリー」自筆原稿ほか

### 2007年収蔵品展

1月16日(火)より3月18日  
(日)まで、企画展示室において  
「2007年 収蔵品展」を開催し  
ています。

収蔵品展では、常設展示で紹介  
しきれない収蔵資料のうち、ぜ  
ひ、ご覧いただきたいものを、紹  
介していく予定です。今年も、例  
年北九州市で行われ、第6回を  
迎える全国女性俳句大会の開催  
(3/3~4)に合わせ、俳句に焦点  
をあてた展示を行います。

女性俳人のさきがけと言われる  
杉田久女は、結婚後、小倉で俳句  
をはじめました。今回は、その久

女を一躍有名にした句「併して山  
ほととぎすほしいまま」を揮毫し  
た掛け軸を展示しています。能筆  
として知られる筆致をお楽しみみ  
ください。また、久女は美術や手芸  
の才能にも恵まれ、絵もよく描き  
ました。自らデザインし、刺繍や  
彩色をほどこした帯絵は、鳳凰や  
四季の花々をあしらった華麗な大  
作。その画才を伝えます。

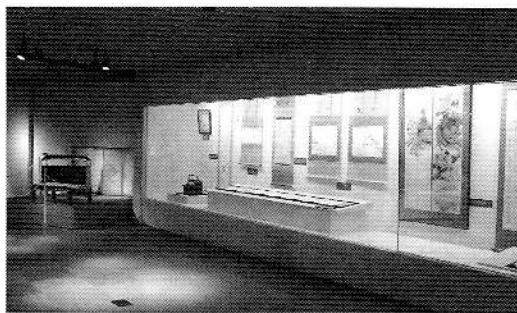
同じ頃、久女から俳句の手ほど  
きを受けたのが、小倉中原、櫛山  
荘の女主人橋本多佳子です。二人  
の交流を伝える資料として、久女  
が櫛山荘の橋本家へ贈った直筆  
の色紙や、多佳子が、久女を偲ん  
で詠んだ句などを紹介していま  
す。

多佳子については、遺愛の品々  
も多くご寄贈いただいております。今  
回はそこから文机や書棚として  
活用していた飾り棚を展示してい  
ます。静かな句作の雰囲気を感じ  
ていただければ、と思います。

野村喜舟、横山白虹をはじめ、  
北九州ゆかりの俳句作家の資料も  
多数展示しています。特に、横山  
白虹については、その多岐にわた  
る交誼から山口誓子や西東三鬼な  
どとの連名による資料を、お楽し  
みいただけます。

このほか、森嶋外(史伝もの)  
の代表作「浪江抽斎」に関する書

簡や、コミさんの愛称で親しまれ  
た田中小実昌の原稿などを展示し  
ています。ぜひ、ご覧ください。



2007年収蔵品展 館内



2007年収蔵品展 エントランス